

「周波数資源開発シンポジウム2018」開催のお知らせ

一般社団法人電波産業会（ARIB）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）と共同で「周波数資源開発シンポジウム2018 ―モビリティの未来を拓く新たな電波の有効利用―」を開催します。

鉄道や船舶、ドローン、航空機といった移動体は、これまで安全性やコスト等の理由により無線通信の利用が限定的でしたが、近年、技術の高度化やIoTの普及によって利用形態やアプリケーションが多様化し、宇宙も含めて新たな産業やサービス創出の可能性が広がってきています。電波利用が更に拡大する2020～2030年代の超スマート社会に向けて、これらモビリティ分野への需要が高まっており、同分野における新たな周波数の利用や既存システムの有効利用は重要課題となっています。

本シンポジウムでは、モビリティの観点から陸海空それぞれにおける最新の無線利用技術に焦点を当て、新たな電波の有効利用方法、市場動向、政策等について、産学官の専門家による講演を行います。研究者や専門家のみならず、多くの方々のご参加を心からお待ち申し上げます。

記

- 1 日 時： 平成30年7月6日（金）13時から
- 2 会 場： 明治記念館 蓬莱の間（東京都港区元赤坂 2-2-23）
- 3 主 催： 一般社団法人電波産業会
国立研究開発法人情報通信研究機構
- 後 援： 総 務 省
- 協 賛： 情報通信月間推進協議会
- 4 テ ー マ： 「モビリティの未来を拓く新たな電波の有効利用」
- 5 定 員： 250名
- 6 参 加 費： 無料
- 7 申込方法： 当会ホームページよりお申し込み下さい。
<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
- 8 問合せ先： 一般社団法人電波産業会 すみの 角埜
(TEL：03-5510-8593 e-mail：k-sumino@arib.or.jp)

情報通信月間参加行事
「周波数資源開発シンポジウム 2018」
 —— モビリティの未来を拓く新たな電波の有効利用 ——

時間	次第	講師 (敬称略)
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	開会挨拶	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事 門脇 直人
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省 総合通信基盤局 電波部長 竹内 芳明
13:10～ 13:50	基調講演 「最近の電波政策の動向について」	総務省 総合通信基盤局 電波政策課長 野崎 雅稔
13:50～ 14:30	講演1 「新たな電波利用が拓く 2030 年代のモビリティ」	上智大学 客員教授 服部 武
14:30～ 15:10	講演2 「ミリ波帯の利活用で実現する未来の鉄道」	三菱電機株式会社 交通事業部 計画部 技術グループ 担当部長 川本 真紀夫
15:10～ 15:30	(休憩)	
15:30～ 16:10	講演3 「モビリティ時代における衛星の新たな役割」	スカパーJSAT 株式会社 グローバル事業本部 グローバル企画部長 稲村 賢治
16:10～ 16:50	講演4 「海洋ブロードバンド通信の実現に向けて」	東京海洋大学大学院 海洋工学系 教授 庄司 るり
16:50～ 17:30	講演5 「目視外の安全なドローン運用を支える新たな電波利用技術について」	国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 上席研究員 三浦 龍
17:30～ 17:35	閉会挨拶	一般社団法人電波産業会 専務理事 松井 房樹
17:35	閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

情報通信月間参加行事 「周波数資源開発シンポジウム 2018」 会場案内図

(平成30年7月6日(金) 13:00開会)

明治記念館案内図



- 電車：JR（中央・総武線）信濃町駅 下車徒歩3分
地下鉄（銀座線・半蔵門線・大江戸線）青山一丁目駅 下車（2番出口）徒歩6分
地下鉄（大江戸線）国立競技場駅 下車（A1出口）徒歩6分
バス：都バス「権田原・明治記念館前」下車徒歩1分
（品97）品川車庫前～新宿駅西口
車：首都高速4号線（外苑出口）
* 250台まで収容できる専用駐車場がございます